

トップあいきり

2016年 年頭所感
抜粋 順不同



である「食事処がない」を解決するためのチャレンジでした。

介護離職防止に 延長サービスを

社会保険労務士法人三島事務所
三島幹雄代表社員

これまで職場では育児の問題に隠れて介護はマイナーな問題と考えられていました。

しかし政府が「介護離職ゼロ」という数値目標を掲げ、職場の介護は今まさに大変革期を迎えています。介護離職ゼロを実現するためには、共働きでも家族の介護が続けられる仕組みが必要であり、例えば延長保育のような夕刻までの延長サービス、食事サービスなどは今後ますます市場に求められると考えています。

「現在の介護業界と大変革期を迎える働く場の介護」その両方の問題を解決すべく、今年も多くの介護事業者様を人事の側面から支援していきます。

高齢者社会進出 外出支援重要に

NPO法人日本トラベルヘルパー(外出支援専門員)協会
篠塚恭一代表理事



外出支援サービスは、介護保険制度改正により、医療介護周辺事

業として地域の生活支援サービスに位置づけられました。

また、今年施行される障害者差別解消法は、障がいのある方へのあらゆるサービスに合理的配慮が義務付けられることになり、高齢者や障がいを持つ人の社会参加がより促進されるでしょう。

一方、高齢ドライバーの事故問題など新たな社会的課題に対しては、個に対応したモビリティサービスを求める声が大きくなります。こうした背景から今後は高齢者住宅を提供する事業者の外出支援への取り組みが必要不可欠なものになっていくと思います。

地域の支援に 飲食事業強化

西谷剛代表取締役
西谷剛代表取締役



昨年はいくつかの地域で介護報酬改定で介護経営者にとって

厳しい1年となりました。そんな環境でも弊社では通所介護1か所、飲食店1か所を新規オープンさせ、豊島区池袋エリアに介護事業4店舗、飲食店1店舗となりました。

弊社理念は「あなたの心のよりどころ」今年も介護はもちろんのこと、地域の困りごとの解決に本気になって取り組んでまいります。

コミュニケーション形成する 24時間サービス マルシモ



下地正泰代表取締役
昨年はいくつかの地域で介護報酬改定や新たにスタートした

介護予防・日常生活支援総合事業、慢性的な人手不足などに何かと翻弄された一年でした。ただ、改めて我々の強さ、足りないもの、磨きをかけなければならぬものを見直すことが出来た貴重な一年でもありました。そのことを踏まえ、本年は、地域性をより意識した新しい取り組みに着手致します。平成14年会社設立から行っております24時間訪問介護サービスのノウハウをベースにして、高齢者の住居や地域コミュニティなど「地域に必要とされる場所」の構築に邁進する次第であります。

